

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	3069	(H.25)No.	3069
-----------	------	-----------	------

事務事業名	遠距離通学費補助金(小学校)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学務管理室	中谷 恒雄	

会計区分	事業コード	472503
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	小学校教育振興費	
項 小学校費	(小事業名)	
目 教育振興費	遠距離通学費補助金	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市立小学校へ遠距離通学する児童の保護者に対し、通学費の一部を補助することで保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、対象児童を安全に通学させることにより、義務教育の円滑な運営を行います。
事業内容
<p><補助>名張市立小学校へ遠距離通学(通学距離が片道概ね4キロメートル以上を基本)する児童及び特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、交通機関(バス)ならびに自動車による通学費の一部を補助します。</p> <p><運行委託>長瀬小・錦生小・滝之原小・国津小の統廃合により、統合先の小学校へ通学することになった児童に対しスクールバスを運行します。</p>

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度対象者 143名 2,255千円 学校統廃合に伴う通学費補助 平成25年度対象者4名(赤目) 88千円 比奈知小学校スクールバス運行業務委託 1,948千円 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度遠距離通学費補助金 1,531千円 小学校の統廃合に伴うスクールバス運行委託経費 15,773千円 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度遠距離通学費補助金 小学校の統廃合に伴うスクールバス運行委託経費 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度遠距離通学費補助金 小学校の統廃合に伴うスクールバス運行委託経費 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度遠距離通学費補助金 小学校の統廃合に伴うスクールバス運行委託経費

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	4,290千円	17,304千円	17,400千円	17,400千円	17,400千円
内訳(千円)					
国・県支出金		667	800	800	800
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 4,290	16,637	16,600	16,600	16,600
人工数					
職員	0.27人	0.27人	0.27人	0.27人	0.27人
臨時職員等	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
②概算人件費	(0千円) 2,120千円	2,120千円	2,120千円	2,120千円	2,120千円
①+②総事業費	(0千円) 6,410千円	19,424千円	19,520千円	19,520千円	19,520千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが必要な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
公共交通機関等が通学手段である児童の遠距離通学にかかる通学費の一部を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、対象児童の通学の安全を確保しました。	等しく義務教育を受けることができる体制を整備するという観点から、遠距離通学費補助を継続して実施するとともに、小学校の統廃合に伴い、統合先の小学校へ通学することになった児童に対しスクールバスの運行を行います。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	通学費用を助成することで、円滑な学校教育の実施を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
統廃合にかかるスクールバスの運行および通学費補助金は、児童が通学距離に関らず、等しく義務教育を受けることができる体制を維持していくために継続が必要です。	